令和 5 年度 肺炎球菌予防接種説明書

※今までに、肺炎球菌の予防接種を受けた方は 助成の対象となりません。

【対象者】

① 令和 5 年度内に、65 歳、70 歳、75 歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方。対象であれば、誕生日をむかえる前に接種できます。

65歳:昭和33年4月2日~昭和34年4月1日生まれ70歳:昭和28年4月2日~昭和29年4月1日生まれ75歳:昭和23年4月2日~昭和24年4月1日生まれ80歳:昭和18年4月2日~昭和19年4月1日生まれ85歳:昭和13年4月2日~昭和14年4月1日生まれ90歳:昭和8年4月2日~昭和9年4月1日生まれ95歳:昭和3年4月2日~昭和4年4月1日生まれ100歳:大正12年4月2日~大正13年4月1日生まれ

② 満60歳~64歳の方で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全のうちいずれかで身体障害者手帳 1 級に該当する方。

※身体障害者手帳または医師の証明書を持参して、市役所窓口で の申請が必要です。

【接種期間】令和 5 年 4 月 1 日から 令和 6 年 3 月 31 日まで

【医療機関へ持参するもの】

- ①予診票(同封のもの)
- ②料金:3000円

※生活保護・中国残留邦人の方は受給証明書を持参すると無 料になります。

肺炎とは・・・

成人肺炎の 25~40%は、肺炎球菌によるものです。特に高齢者では重篤化しやすい病気の一つです。

<u>予防接種の効果は・・・</u>

肺炎球菌には90種類以上の型がありますが、現在使用されているワクチンは23種類の型に対して免疫をつけることができます。予防接種を受けると肺炎球菌による肺炎の重症度と死亡のリスクが軽減されます。

1回接種すると 5 年以上効果があります。今までに肺炎にかかった方も接種できます。

肺炎球菌予防接種の副反応は・・・

主な副反応は、注射部位の痛み、発赤、腫れなどです。その他、筋肉痛、体のだるさ、頭痛、発熱があります。これらは数日で消失します。まれにアナフィラキシー

様反応、血小板減少、知覚異常、注射部位の蜂巣炎、壊死、潰瘍等が現れる場合があります。

他の予防接種を受けるときは・・・

このワクチンを接種してから、1 週間以上あけると他の予防接種が受けられます。インフルエンザを先に接種した方は、1 週間以上あけるとこのワクチンを受けることができます。(例:水曜日に接種した場合は翌週の水曜日から接種できます。)同時接種については、医師にご相談ください。

接種を受ける前の注意事項

予防接種は体調の良い日に行うことが原則です。現在治療を受けている場合は主治医にご相談ください。下記の場合は予防接種ができません。

- ①明らかな発熱(37.5℃以上)がある場合
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ※予診票は、接種を受ける方が責任を持って記入してください。

接種を受けた後の注意事項

- ① 当日の入浴は差し支えありませんが、接種部位は強くこすらないようにしましょう。
- ②接種当日は、いつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の 飲酒はさけましょう。
- ※ 予防接種ができる医療機関は右記のとおりです。(かかりつけ医師が奄美市以外の方,奄美市以外の施設に入所している方は,各総合支所へご相談ください。)
- ※ 高齢者肺炎球菌の予防接種による健康被害救済の請求について、予防接種との因果関係を厚生労働大臣が認定した場合は、健康被害に対する給付の対象となります。

【お問い合せ先】

- ·名瀬総合支所 健康増進課 0997-52-1111(内線: 5058)
- ·住用総合支所 市民福祉課 0997-69-2111
 - ・笠利総合支所 いきいき健康課 0997-63-2299

